



冬至は1年で最も昼が短く、夜が長い日です。この日を境に少しずつ昼が長くなっていくことから、昔は太陽が生まれ変わり、運が 向くと考えられていました。そこで香りの強いゆず湯で身を清め、邪気を追い払う習慣ができました。 冬至に「ん」のつく食べ物を食べると幸運になるという言い伝えもあります。また「体の砂を払う」とされるこんにゃくを冬至に食べる

地域もあります。

22日の給食は、はんぺんフライ、れんこんや人参、さやいんげん、こんにゃくを使用した筑前煮です。 給食をしっかり食べて風邪をひかない体づくりを心がけましょう。

食器太い線 = 大わん(ピンク)

細い線 = 小わん(ブルー)

点線 = 浅い皿(パン皿) 二重線 = 大皿(カレー皿) 長い点 = 深皿(グリーン)

> スプーン はし =

食器は、よく確かめて盛りつけましょう